

中村元 慈しみの心

山陰中央新報（総合）

中村元 慈しみの心 No.525

たとい善を行う者がいても、ただ己の利益や名誉を求めることだけを考える人は、さとりを修めることはできない。（『占察善悪業報経』）

△解説▽己の利益や名誉を求めず、善行は、人に目立つように行われるのが常である。見せかけの善行で偽善である。今、役に立つだけでなく、のちに人々のためになると思っている善行が真の善行である。

田上太秀・駒澤大名義教授

2017.4.23 中村元記念館協力

中村元 慈しみの心 No.524

どんなものでも、心が快樂にくらまされて、それに喜びを求めれば、それだけのものは千倍の苦しみに変じて現れる。（『入菩提行経』）

△解説▽快樂もすぎてもならない。すぎた快樂には、後に苦しみが残る。すぎないように、ほどほどがよいという。中国の『礼記』に「歡樂極まりて、哀情多し」とある。樂しみごとは極め尽くすと、後に残るのはわびしさだけという。

田上太秀・駒澤大名義教授

2017.4.22 中村元記念館協力

中村元 慈しみの心 No.527

すべて、ものには固定した性質はない。人はどうしてつねに悪人であろうか。愚かな者も愚かなままであるわけではない。（空海）

△解説▽心の本性はもと善でも悪でもない。釈迦は説いた。道元の言葉で言えば、縁（条件）によって心は善くもなり悪くもなる。善人も悪人も環境によって作られる。生まれつきの善人も悪人もいない。

田上太秀・駒澤大名義教授

2017.4.25 中村元記念館協力

中村元 慈しみの心 No.526

人は己の為した善悪を己自身で知っている。善をなす者は善を、悪をなす者は悪を知っている。どんな種子を蒔いても、人はそれから生じた果実を収穫する。（『ジャータカ』）

△解説▽どんなに良い種子を蒔いても、水や肥料を与え、よく手入れをしないでは良い果実は得られない。果実の出来不出来は育てる途中の手入れの善し悪しにかかっている。結果は原因にはなく、途中の条件次第である。

田上太秀・駒澤大名義教授

2017.4.24 中村元記念館協力

中村元 慈しみの心

山陰中央新報（総合）

中村元 慈しみの心

No.529

幸せは自分で作る。不幸せも自分で作る。まったく他人の仕業ではない。（『ジャーナカ』）

△解説▽人社会は心の交流で成り立つ。良好な関係は幸せな和合を生むが、角が立つと平安な和合が壊れる。やさしい言葉をかける、相手も思いやる、人を蔑視しないなどを心がけると、人も己も幸せになるといえる。まず人を幸せにすることが己の幸せになる。

田上太秀・駒澤大名善教授

2017.4.27 中村元記念館協力

中村元 慈しみの心

No.528

知らずに悪い行いをする者のほうが災いが大きい。（『ミリンダ王の問い』）

△解説▽知らずにやった、と言いつつ許されることが教育現場で多い。加減を知らない少年はかぎりなく暴行を加え、相手を死に至らせる実例がある。赤子は熱した鉄棒と知らずに握り、大やけどを負う。知らずになした悪行の報いは己に重く降りかかる。

田上太秀・駒澤大名善教授

2017.4.26 中村元記念館協力

中村元 慈しみの心

No.531

飛花落葉、ことごとく己の迷いの心を解きほぐす道場である。清風明月も、己とともに善を修め、悪を止める友である。（『十善法語』）

△解説▽気晴らしに花見に行く。落ち葉を踏みながら散策する。涼風と遊び、気を爽快にする。明月と語り合って心を洗う。自然の懐にいだかれて、人は心の悪を落とし、善を思い起こす。万象の動きは勸善懲悪の助けとなる。

田上太秀・駒澤大名善教授

2017.4.29 中村元記念館協力

中村元 慈しみの心

No.530

私はどこにもなく、だれのものでもなく、なにものなかにない。また、私のものはどこにもなく、なにものなかになく、なにものも存在しない。（釈迦）

△解説▽人は自分を指さし、「己」というが、体のどこにあるのかだれも知らない。妻や夫や子を「己のもの」と考えている。しかし相手にも「己のもの」がある。相手の「己のもの」をどうしてこちらが「己のもの」と言えよう。「己」や「己のもの」はただ言葉にすぎない。

田上太秀・駒澤大名善教授

2017.4.28 中村元記念館協力

中村元 慈しみの心

山陰中央新報（総合）

中村元 慈しみの心

No.532

正しい教えを体得したら、それに固執すべきでなく、誤った考えにも執着すべきでない。
（『金剛経』）

△解説▽買った電気製品の説明書は読んで分かったら、製品を使う時、そのつど読まない。同じくお経は修行の道標で、理解し、体に習得したら、それを持ち歩く必要はない。体がお経で、お経は体で体現される。習得したら教科書はいらない。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2017.4.30 中村元記念館協力